

志望動機

志望理由書を書き、考えを明確化しよう



以前の授業では、志望動機シートを使って志望動機を整理しました。それをもとに、面接試験対策や面接練習もしてみました。

では、今日は、志望先に提出する「志望理由書」を書いてみましょう。志望先を意識して伝えることばを選んでいくと、進路への考え方と気持ちがいっそう明らかになり、深まっていきます。

進学・就職、推薦・一般の別を問わず、自分自身の志望の気持ちや考え方を明確にすることが、進路目標実現への確実な道です。

●志望理由書とは

「志望理由書」は、事前に書いて進路志望先に提出する書類で、推薦入試、AO入試などでは、必ず求められます。就職でも、履歴書に志望理由を書く欄があります。

面接試験では必ず、志望理由書の内容が質問されるので、自分で考えて書くことが必要です。

また、筆記試験として、「志望動機」が出題されることもあります。例えば60分で800~1000字程度の文章をその場で書きます。その場合でも、事前に志望理由の作文を何度も書いて、準備しておくことが基本です。

●本日の授業の流れ

- 1、志望動機シートを見直す、書き直す。
- 2、志望理由書の形式を理解する。
- 2、個人作業で志望理由書を書く。

ワーク1 志望動機シートを再確認しよう

前回の「志望動機シート」を見直してみよう。

前回の志望先が変わらない人

→前回のシートを使って書き足したり、書き直したりする。

志望先が変わった人

→新しいシートに書き直す。部分的には書き写しでよい。

※志望先が明確でない人は、架空の志望先を想定して書く。

※現在、進路活動中の人は、希望の進路先で書く。

7-72 志望理由書の構成を理解しよう

1) 志望理由書の実例を読んでみよう <女子の例 志望先: 丘の上観光ビジネス専門学校>

私は将来、旅行代理店に勤務し、お客様の思い出に残る旅のお手伝いをしたいと考えています。その夢をかなえるため、仕事に必要な専門知識と幅広い教養を学び、とくに重要なコミュニケーション能力を身につけたいと思い、桐ヶ丘観光ビジネス専門学校への入学を希望します。

私は幼い頃から地理や歴史が好きで、日本や世界を旅して紹介するようなテレビ番組をよく見ていました。高校に入り進路を考えるようになってから、旅行代理店という仕事があると知り、興味を持ちました。また、修学旅行のとき、同行してくださった若い女性添乗員の方が、テキパキといろいろな手配をこなしながら私たちにもいつも笑顔で接してくれるのを見て、素敵だなと思い、自分もあんなふうに働けたらと憧れを感じました。

現在、私はアルバイトの経験もありませんが、人のために働くのが好きだと思います。高校1年から野球部のマネージャーを務め、顧問の先生と相談して練習メニューを組んだり、部費の会計や対外試合の連絡などをしてきました。その一方で部員の体調にも気を配り、休みがちな部員に声をかけたり、先生に相談したりしました。地味な仕事ですが、部員が元気に練習や試合をしている姿を見ると、やりがいを感じます。自分は人のために、陰ながら準備・段取りをしたり、人と人の間に立ってコミュニケーションを円滑にする仕事に向いていると思います。

桐ヶ丘観光ビジネス専門学校では、とくに接遇マナーやコミュニケーション能力の育成に力を入れており、現場実習も多く体験できると伺っています。また、有名ホテルや旅行代理店に多くの先輩が就職されています。入学後は、授業や実習に積極的に取組み、夢をかなえるために必要な力を存分につけたいと思っています。以上が、私が丘の上観光ビジネス専門学校を志望する理由です。

(約780字)

2) 構成のポイントを理解しよう

①「志望理由」は、大きくまとめれば1つだけ。

→それを最初の段落に明確に書く。

②「志望理由」が読み手に伝わるように、エピソードを書く。

そして、その体験から出た自分の考えを書く。

③相手先の特徴を踏まえて、もういちど「志望理由」をまとめる。

「です・ます」「である」は、志望理由書の場合、どちらでもいいが、文中で統一すること。

*志望理由書の書き方はこれだけではありませんが、もっとも典型的なパターンとして、今回はこの形式に沿って書くこととします。

*この例以外に、大学や就職の例を、あとでまた配布します。



ワーク3 志望理由書準備メモ

1)志望先、2)志望理由を一言で は、志望動機シートを見て書こう。

3)志望のきっかけ を新たに考えてメモしておこう。これは、「志望動機シート」には欄がないので、志望理由書にする前に、このエピソードを考えておくことが必要です。

1)志望先 具体的な応募先を想定する。○○大学経済学部とか、××物産(株)など。架空でもやむを得ない。

2)志望理由を一言で 例「××に関心があり、○○を深く学びたいので、貴学への入学を希望します」「将来、○○になるために、貴学を志望します」「××に興味があり、○○の仕事をしたいので、御社を志望します」

3)志望のきっかけ(具体的体験、エピソード) その分野に興味を持ったり、その職業をめざすきっかけとなった体験

ワーク4 志望理由書を書いてみよう

別紙原稿用紙に、例文の構成を守って書こう。

字数は600字以上800字以内を目安に。

字を調べたいときは、先生に辞書を借りる。

以下は、授業の最後に書きます。

感想 今日の学習の感想を書いておこう

次の例も参考にしてみよう。

付録1 志望理由書例（大学・公募推薦・不登校の過去）

〈男子の例 志望先：桐葉大学人間学部心理学科〉

私は、桐葉大学人間学部心理学科への入学を希望する。その理由は、一対一の面談だけでなく、グループの中で癒されたり学んだりできる集団的なカウンセリングの技法を学び、学校現場などで活用できるカウンセラーになりたいからだ。

私は中学3年の4月、転校した先のクラスの中で無視され、不登校になった。明るかった自分が嘘のように、数か月間引きこもって暮らした。高校受験が近づいても登校できず、親の勧めで相談室に通った。親身に話を聴いてくれるカウンセラーのおかげで、少しずつ前向きになった。そのころから私は、将来像として漠然とカウンセラーを考えるよになつた。

そして私は都立桐ヶ丘高校に入学した。この学校には似た体験をした仲間が多く、すぐ打ち解けることができた。その仲間たちのおかげで、もとの元気を取り戻し、文化祭などでも積極的に活動できる自分に変わつていった。

桐ヶ丘高校では、カウンセリングルームや教育相談の体制が充実していて、一対一のカウンセリングだけでなく、生徒同士でワークをしながらラックスできる機会もある。そうしたワークは「集団カウンセリング」とも呼ばれると、教育相談の先生に教わり、中野教授の『集団カウンセリング入門』を勧められた。それを読んだところ、「集団カウンセリングは、いじめを根本から予防する方法である」とあり、感銘を受けた。その考え方でクラス作りができれば、私のような思いをする中学生も少なくなるのではないかと思った。

私は、桐葉大学人間学部で集団カウンセリングを学びたい。とくに、ゼミ形式の授業が多く学生同士の学び合いを大切にする学部の方針に共感する。オープンキャンパスの模擬授業でも、グループをリードしてくれる大学生がとても頼もしく思えた。ぜひこの雰囲気の中で学び、集団カウンセリングの専門知識と技能を身につけたい。

以上の理由から、桐葉大学人間学部心理学科への入学を強く希望する。
(約800字)

「である」体の例。
固い印象だが、敬語
を気にしなくてよい。

序論

簡潔な志望の意志
簡潔、明瞭に書く。

本論

- (1) 具体的な志望理由
 - きっかけエピソード
 - その時の自分の考え
 - 体験、考えの発展

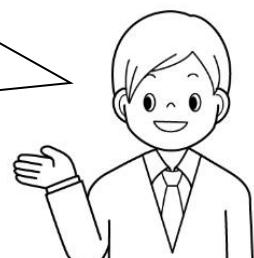
(2) 自己アピール

- 学びたい意欲の具体化
- (将来像でもよい)**

結論

志望先の特徴と関連づけて、もう一度、志望理由を簡潔にくり返す

不登校などの体験も、見方を変えれば強みになる、という例です。
ただし、不登校の過去を乗り越えて、今は大きく成長しているという点が重要です。
安易に不登校の体験を書くだけでは、マイナスイメージになる可能性があるので
慎重に考え、必ず先生などに見せて客観的な意見を聞きましょう。



付録2 志望理由書例（就職）

<女子の例 志望先：あかばね製菓（製造）>

私は子どものころからお菓子が大好きで、食べるのももちろん、さまざまな色や形のお菓子を見るのも好きです。貴社のお菓子は見た目もきれいでおいしく、子どもも大人も笑顔にしてくれるものだと思います。そのためお菓子作りのお仕事をぜひしたいと思い、貴社を志望します。

会社訪問の際には、清潔な工場で皆さん熱心に働いている様子に感銘を受けました。また、案内してくれた人事の方や社員の皆さんがとても親切で、明るく温かい雰囲気を感じ、ぜひここで働きたいとの思いを強化しました。

私は高校3年間、保健委員として、洗面所の液体石けんを補充する仕事を地道につづけました。粘り強く努力を続けられることが自分の長所です。就職後は、与えられた仕事を責任もってやり遂げたいと思います。

(約320字)

自分の体験きっかけに書き起こしている例。長くならないように。

(1) 簡潔な志望の意志
その会社を選んだ理由を端的に。
その会社(仕事)の社会的役割。
下線部を最初の段落で言う。

(2) 具体的な志望理由
その会社で働きたい気持ちを具体的に。
その仕事の社会的役割ここで書いてよい。

(3) 自己アピール・決意
自分の長所や高校生活でやりとげたことなどを書き、それを就職先での決意につなげる。

※ありのままの自分を書けばよいが、業種や職種を意識して、仕事につなげられるとよい。